

# 木材ジャーナル名古屋・世ぶ

平成29年2月号 No.117

名古屋木材組合  
名古屋港木材産業協同組合

## 平成29年新年名刺交換会開催

平成29年1月6日(金)午後5時から名古屋市西区のウェスティンナゴヤキャッスル「青雲の間」において、中日本合板工業組合、日本合板商業組合中部日本支部、名古屋建材商社会、名古屋木材組合、の木材、建材関係4団体共催により新年名刺交換会が、来賓、組合員関係者等480名余が参加して盛大に開催された。

最初に主催者挨拶で名古屋木材組合 西垣洋一組合長は昨年について「消費税増税は延期だったが、業界は良い方向に向かった」とし、「今年は森林・林業・木材産業の川上から川下が一体となり、持続的な森林経営と循環型社会を構築することが使命であり、私も業界に入り、40余年



西垣洋一 組合長

になるが、ようやく国や民間からのフォロー風が吹いてきた。それに併せて木材関連5団体が連携に調印し大きな価値連鎖を生む時代になった」と述べ、「我々は『ウッドファースト』社会の実現と『木材の復権』を目指そう」と促した。そして具体的な取組みとして①省エネ義務化で自然素材を生かした「パッシブ住宅」の取組み②非住宅分野への積極取組み③合法木材の「クリーンウッド法」への対処④従業員への労務管理の徹底などを挙げ、「愛知県木連や行政と連携して4つのテーマを具体化したい」と挨拶した。



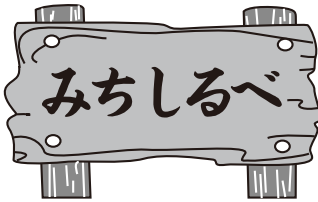
大西哲也 双日建材(株)代表取締役社長

続いて、主催者挨拶として名古屋建材商社会大西哲也 双日建材(株)代表取締役社長から「酉年は大きな変化がある。名古屋は名古屋城天守閣の木造復元、リニアの乗り入れ、レゴランド大型商業施設開業、アジア大会など明るい話題が多い。中部地区が景気をリードしてほしい」と述べた。

引き続き、日本合板商業組合中日本支部熊谷昌久支部長が乾杯の音頭を行い祝宴に移った。会場では新年の挨拶と今年も頑張っていくという意気に溢れ盛況であった。

最後に中締めとして、中日本合板工業組合 内藤和行理事長から業界の益々の発展と参加者の皆様の健勝を祈念して三本締めで会を終了した。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



## 自由主義、民主主義の崩壊 (トランプ評価)

名古屋港木材産業協同組合  
理事長 嶺 木 昌 行

支持率48%と人気のないトランプ大統領であるが、時代の先読みと思えば、彼は気の毒な大統領ではあるが、決して悪い大統領ではないと思われる。

私は木材ジャーナルの新年号で、クリントンは旧体制保持派、それに対しトランプは自由主義・民主主義に「No」または「？」を提示した旧体制破壊派と定義した。クリントンの政策は、これまでの多くの民主的な政治家の執ってきた手法と同じであり、国民への手厚い保護の一方、赤字財政の垂れ流し、貧富の差の拡大（というより貧困層の量産）といった病的な現代資本主義経済を推し進める大衆迎合方策である。トランプはこの政策にNoを示し、アメリカの立て直しを図ろうとしている。アメリカファーストであり、身勝手な自国主義と世界から非難されてはいるが、アメリカはいつかはこの政策を執らざるを得ないと私は思う。トランプがたまたま最初に手をつけた大統領になっただけである。

今の世界を見てみると、一部の超大金持ちを中心とした富裕層に富が集中して、多くの世界市民は貧しい中にある。更に忘れてならないのは、国家も極めて貧乏な集団であるということである。自由主義・民主主義・平和主義を基調とした資本主義経済の拡大しすぎたなれの果ての姿である。

私は世界が壊れる以前に、一つひとつの国家が自国を守ろうとすることは極めて大切なことであり、そうした意味において保護主義もやむを得ないことと思う。アメリカの大統領はこれまでアメリカだけの大統領ではなく、世界のリーダー・統率者という認識があったが、トランプは世界の統率者であることを捨てアメリカのみの、それも偏った一部のアメリカ国民のための大統領として当選したのである。それぐらいアメリカは病んでいる。言い換えれば、拡大しすぎた資本主義は疲弊しているのである。トランプがいかに保護主義を執ったところで、アメリカの経済は立ち直らないと私は思う。自由を失ったアメリカはアメリカンドリームを放棄することになり、アメリカンドリームを失ったアメリカはどういう形かはわからないがバラバラに分裂して行かざるを得ない。現在の疲弊した世界サイズの資本主義に替わるものとして、保護主義経済・ブロック経済に移行することはやむを得ないと思う。自由主義・民主主義という言葉そのものに疑問符が付けられ、現在のような行き過ぎた自由主義・民主主義・資本主義は修正されていくことと思うが、かと言って各国が極右化して戦争に突入しない我慢を持たねばならない。感謝・愛・祈りがキーワードとなり、寛容と忍耐と慈愛の心を育てなければならないと思う。

戦争以上の不幸はないのだから、戦争を起こさないためのあらゆる苦難・不幸に耐えられるはずだ。それなりの犠牲なくして平和を望むことは不可能である。

## 恭子のワーキングライフ

### “ 山の恵み ”

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」(＝「山の日」)。皆様もご存じのように2016年から8月11日が「山の日」になりました。

私は「山の日」施行に先駆け2015年10月から夫と共にトレッキングを始めました。日常生活では健康を意識しながらも体を動かす機会が少なく、健康の維持・増進や自然に親しむ機会を得る目的で、遅ればせながら「山ガール?!」デビューとなりました。始めた頃は長野県・和歌山県・三重県・岐阜県方面などのトレッキングコースを歩き、2016年7月には「世界自然遺産 屋久島」へ足を延ばしてきました。

屋久島へ着いた初日はレンタカーで島内を一周。世界有数のアカウミガメの産卵地域として有名な「永田浜」、「日本の滝100選」に選ばれている落差88mの「大川の滝」、V字型になった巨大な花崗岩の一枚岩を流れ落ちる「千尋の滝」などの雄大な自然を満喫。途中で屋久島に生息する親子連れのヤクシカやヤクザルの可愛らしい野生動物に遭遇して心が和みました。

2日目は早朝4時にホテルを出発し、途中で登山バスに乗り換え、荒川登山口から屋久杉を代表する世界最古の植物とも言われる「縄文杉」へ向けて往復10時間のトレッキングを開始。枕木の敷かれたトロッコ軌道を歩き、翁杉、樹齢3000年屋久杉の古株で空洞から見上げるとハートの形をしている「ウィルソン株」、大王杉などの屋久杉を見ながら、いよいよ「縄文杉」に直面。眺望デッキから見た景色に、この場所に至る長い道のりの疲れが一瞬にして吹き飛び、厳しい自然の中で生き続けた巨樹を神々しく感じられ、何千年もの時を超えた1本の杉に魅了されました。

3日目は照葉樹林や屋久杉などの原生林、苔むした森と清水の沢が美しい「白谷雲水峡」へ。そこは宮崎駿監督作品「もののけ姫」の中で描かれている木魂の舞台になった場所で、清々しく神秘的で幽玄な世界を見ることが出来ました。

今回の屋久島で見た森林の美しい景観や川のせせらぎ、野鳥の鳴き声、森の香りなど“山の恵み”を五感で感じ、豊かな自然を次世代に残す自然保護や環境保全の必要性を強く思いました。

## ◆ 合縁木縁 ◆

### 「 壁紙から考えたこと 」

早速ですが、去年はプライベートのことで様々なことがあった一年でした。

春先には、様々な苦勞が有りましたが、無事子供を授かりました。秋には自宅で大掛かりなりフォームをおこないました。

訳あって、家中すべての壁紙を張り替えることとなりました。見回してみると、我が家はありとあらゆるところが壁紙に包まれた家でありまして、まさに一大事なことでした。

当時は、まだ三カ月のわが子への接着のりの影響や、工事のために初めてののお泊りをさせなければいけないことに対して頭がいっぱいでした。しかし、振り返ってみると、普段では感じることもない壁紙から今の住宅事情を考えるきっかけになりました。

打ち合わせの際に業者から約200種類から壁紙を選べる冊子を渡されました。大半が洋室向けの白柄のものでしたが、その中には板目や柾目の木目柄のものもありました。

家には和室(床の間もない和室もどきですが)があるのですが、元々白基調の土壁模様の壁紙でした。天井も壁と一緒の壁紙です。

今回も同じような柄にしました。天井も壁と同じ柄。せっかく木目柄を選べるにもかかわらず。提案はしましたが、業者から推奨もされない(六畳の和室、少しでも広く明るく見えたほうがいい。柄物は飽きが来るとのこと)ので、妻も以前と同じ柄を選びました(耐久性をうたっている壁紙ということもありましたが)。

木材が使われない、天井板が使われないという以前に、木目柄が選ばれないということにびっくりした出来事でした。

今、自宅の和室は壁紙、障子の白さで、とても明るい部屋です。しかし、そこは床の間もなく、天井板もない、もどきの部屋。毎日その場所で寝ている我が子は、寝返りも打てず、天井ばかり見えています。和室はこのようなものと刷り込まれていくのでしょうか。

和室、そして家というコンテンツでは適いませんでしたが、また別の機会で我が子が木に触れられる機会をつくれればと思います。

今回は、(株)名住 代表取締役 社長 上沖志保氏 にお願ひします。



国道302号 上り線(南進方向) 愛知県名古屋市中川区島井町地内(島井町交差点) 橋梁建設工事に伴う 夜間通行止め規制 のお知らせ

名古屋市中川区島井町地内において、名古屋環状2号線(名二環)の橋梁建設工事を行うため、国道302号(島井町交差点付近上り線(南進方向))の夜間通行止め規制が実施されます。

通行規制① (島井町交差点の北側)

規制場所：国道302号 上り線(南進方向) 稲屋交差点 ~ 島井町交差点

規制期間：平成29年2月24日(金) ※荒天時は翌日以降に順延します。

規制内容：通行止め(橋梁架設に伴う通行止め)

規制時間：0:00~4:00 (4時間程度を予定)

名二環(名古屋第二環状自動車道)利用車輛は、下り線「大治南IC」出口先の国道302号が通行止めとなりますので、「基目寺南IC」下車し、迂回路を利用ください。

通行規制② (島井町交差点の南側)

規制場所：国道302号 上り線(南進方向) 島井町交差点 ~ 島井公園東交差点

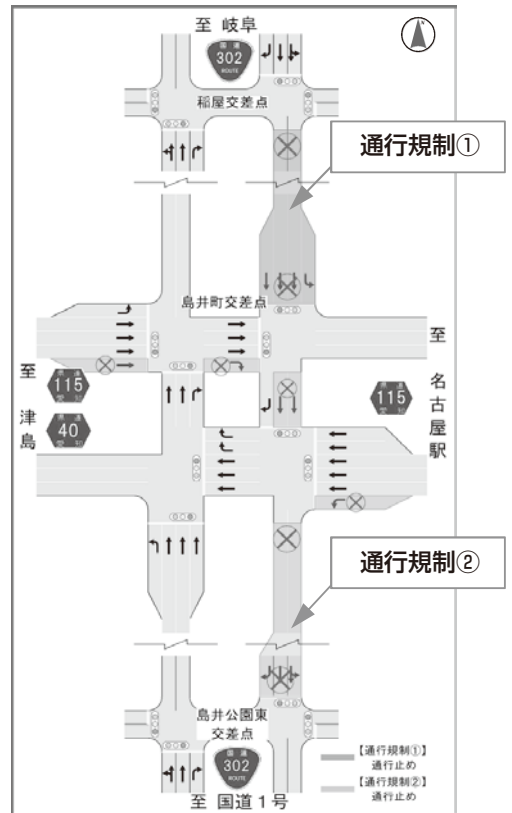
規制期間：平成29年2月28日(火) ※荒天時は翌日以降に順延します。

規制内容：通行止め(橋脚架設に伴う通行止め)

規制時間：0:00~2:00 (2時間程度を予定)

■ 工事に関する問い合わせ先 (発注者) NEXCO中日本 名古屋工事事務所 TEL (0568)42-1911 (平日昼間) (受注者) JFE・IHI・横河 特定建設工事共同企業体 TEL (052)446-8934 (終日)

交差点通行止め図



◆ 広告コーナー

私たちのプレカットテクノロジーは、人と住宅の未来のために磨かれています。 Precut & Technology MIYAGAWA 宮川工機株式会社 本社 〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53 TEL.(0532)31-1251(代) FAX.(0532)34-1956 東京営業所(本事業所はISO9001:2000認証取得の組織ではありません) 〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目15の6 TEL.(03)3647-2140(代) FAX.(03)3647-2184 ●資料ご希望の方は、宮川工機(株)営業部まで

HEIAN 「プレカット」と「木工機械」の平安コーポレーション 〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-5-2

発行 名古屋木材組合 発行者 西垣洋一 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10 TEL <052> 331-9386 FAX <052> 322-3376 【編集】名古屋木材組合広報委員会 発行 名古屋港木材産業協同組合 発行者 嶺木昌行 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74 TEL <0567> 57-2017 FAX <0567> 57-2018 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会